

75 わきまち
脇町

(徳島県美馬市)

注目ポイント！

うだつの町並みと脇町劇場を活用した観光交流事業の展開。
行政、民間団体、住民の協働による多彩な観光文化活動の推進。
ゆう湯うパスによる利用促進。

うだつの町並み入込客数が4年間で約30%増加！
約17万人(平成13年) → 約22万人(平成17年)



うだつの町並み

コラム

脇町の歴史的建造物であるうだつの町並みを修復し、観光客を集客するまでに育て上げた。

また、町おこしの組織化、ボランティア活動の活発化や人材発掘などを通じて、住民を地域活性化の主役に位置付けた観光地づくりを推進した。



観光カリスマ
佐藤 浄氏

これまでの経緯

- 昭和61年(1986) 南町街並み保存会が発足する。
- 昭和63年(1988) 「重要伝統的建造物群保存地区」に選定される。
- 平成8年(1996) 脇町まちづくり百人委員会が発足する。
脇町うだつの町並みボランティアガイド連絡会が発足する。
「虹をつかむ男」脇町ロケが始まる。
- 平成9年(1997) 脇町長期振興計画が策定される。
- 平成11年(1999) 第三セクター「ふるさとわきまち株式会社」が発足する。
脇町劇場(オデオン座)改修オープンする。
- 平成13年(2001) 「舟着場跡」整備工事が完成する。
- 平成17年(2005) テレビドラマ「水戸黄門」、東映映画「バルトの楽園」のロケが行われる。
ゆう湯うパス(周遊パス)の販売を開始した。
「うだつと白壁の町並」が手づくり郷土賞(大賞部門)を受賞。
- 平成18年(2006) 「町並み通り」をリニューアルした。

主な取り組み

うだつの町並み 脇町

江戸～明治時代の藍商人の屋敷が400mにわたって立ち並び、国の重要伝統的建造物群保存地区にも選定された町並み。平成17年度に、従来の赤茶色の町並み通りを江戸時代の街道をイメージした黄土色にリニューアルし、夜間のライトアップを実施。

また、テレビドラマ「水戸黄門」や映画「虹をつかむ男」・「バルトの楽園」のロケも行われた。



街路灯が灯るうだつの町並み

町並み再生を核とするまちづくり

図書館や中学校などを伝統的建造物風にし、伝統的様式を脇町の地域デザインに。

地元住民が保存会を結成し、町並み保存と修復に努力するとともに、行政との連携により「電線の地中化」「道の駅の整備」を実現。

また、地域住民を中心に「うだつの町並みウェルカム観光ガイド連絡会」を結成し、観光客、修学旅行生などに歴史、文化など脇町の良さをガイド。



観光ガイドによる案内

ゆう湯うパス

観光施設と温泉、バス乗り放題を組み合わせ、それぞれの特長を活かした連携により魅力ある周遊ゾーンを形成。ゆう湯うパスの発行により脇町中心街への観光客誘致やバスの利用促進を図っている。



ゆう湯うパス特典対象施設(吉田家住宅)

ふるさとわきまち株式会社

ふるさとわきまち株式会社は、脇町劇場、観光文化資料館、物産販売施設「藍蔵」、道の駅駐車場、交流促進宿泊施設「美村が丘」等を管理。道の駅駐車場の整備により、町並みの通過交通が激減し歩行者に優しい街中に変容した。

また、「美村が丘」では、住民組織と連携し、農業体験、そば打ち体験、かずら細工、竹細工の体験などを実施。



「藍蔵」でのイベントの様子

問い合わせ先

美馬市経済部商工観光課
Tel : 0883 - 63 - 3114
ふるさとわきまち株式会社
Tel : 0883 - 53 - 8599

<http://www.city.mima.lg.jp/>